

通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりに関する研究 — アセスメントシート分析パッケージの活用 —

研究の目的

アセスメントシート分析パッケージ（以下、「分析パッケージ」という。）を活用した、通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりに関する実践事例をブックレットにまとめ、実態把握に基づいた特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりを推進する。

研究の内容

小・中学校の研究協力委員、研究協力校による、分析パッケージを活用した授業実践をブックレットにまとめ、通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりについて提案する。

研究の成果

ブックレット

「通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり
— アセスメントシート分析パッケージの活用 —」の作成

ブックレットの構成

【手順編】

- 1 分析パッケージの概要
- 2 分析パッケージの活用手順
 - ・「学級集団・個を理解する手順」による実態把握

【実践編】

- 1 小学校実践例（小学校第6学年算数科「図形の拡大と縮小」）
 - ・実態を把握する〈学級集団・個・単元に関して〉
 - ・授業における指導・支援を考える
 - ・授業実践と振り返り
- 2 中学校実践例（学校全体で生徒の実態、指導・支援を共通理解する）
 - ・実態把握から指導・支援を考える〈学級集団・個に関して〉
 - ・学校全体で共通理解をする
 - ・授業実践と振り返り

特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりの提案 ～二つの事例から得られたポイント～

【小学校】

- ・アセスメントシートの結果と行動観察等を照合した総合的な実態把握の重要性
- ・総合的な実態把握から導き出されたペア・グループ学習による学びの促進

【中学校】

- ・「方法」から「実態」へと授業改善の視点を転換することによる教師集団の一体化
- ・生徒の行動の背景要因を理解することによる効果的な指導・支援への気付き